

地对協コーナー

広島県地域保健対策協議会では、「がん対策専門委員会」においてがん医療の水準向上、ならびにがん医療連携体制の強化について検討を行っていますが、専門性の高い協議が求められる事項については、領域別のWGを設置し、調査や協議を行っております。「放射線治療連携推進WG」もその一つで、県内の放射線治療実態調査を毎年度実施し、現状を把握するとともに課題解決に向けた協議に取り組んでおります。

今号は、1月に開催した委員会の報告をお届けします。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の各委員会活動などは、地对協ホームページ (<https://www.citaiky.jp/>) へ掲載しておりますので、アクセスをお待ちしております。

○放射線治療連携推進WG

日時：令和8年1月22日(木)19時00分

場所：広島県医師会館 3階 301会議室／

Web

WG長：村上 祐司

2024年に実施した県内の放射線治療の実態調査結果をもとに協議を行ったほか、広島がん高精度放射線治療センターから2025年度治療実績や人材育成に関する取り組み等について報告があった。

報告・協議事項

(1) 放射線治療体制のあり方検討にかかる実態調査について

県内の効果的かつ効率的な放射線治療提供体制の構築に向け、放射線治療の現状等を把握・分析するため、昨年度に引き続き、県内の放射線治療施設を有する医療機関を対象に実態調査を実施した。調査は、原則として「日本放射線腫瘍学会 (JASTRO)」が実施する「全国放射線治療実態調査 (構造調査)」に準拠して行った。

放射線治療にかかる人員体制については、2023年から2024年にかけて、県内の放射線腫瘍医、診療放射線技師、医学物理士、品質管理士において増加がみられ、特に2017年から2021年まで減少傾向であった診療放射線技師数は2022年から着実に増加し、治療専任度も維持していた。

放射線治療について、放射線治療全般としては、2023年と比較し、新規患者数は103.6%と増加した。特に、呉圏域 (115.3%) での増加率が高かった。全身照射は73.9%と減少したものの、

小線源治療 (腔内照射) は102.4%、脳定位放射線治療は104.0%、体幹部定位放射線治療は134.4%、強度変調放射線治療は103.6%といずれも増加傾向にあり、高精度放射線治療割合も増加している。

圏域別にみると、体幹部定位放射線治療は広島圏域 (145.4%)、尾三圏域 (141.2%) で顕著に増加しており、強度変調放射線治療では、広島西圏域 (136.4%)、尾三圏域 (134.3%) で顕著に増加している。各圏域において、装置更新が行われたことが要因と思われる。

放射線治療部門の原発巣別新規患者数については、2023年と比較し、疾患別放射線治療患者数で、増加傾向が見られたのは、胃・小腸・結腸・直腸 (118.2%) が最も多く、次いで肺・気管・縦隔 (113.9%)、皮膚・骨・軟部 (113.0%) であった。減少傾向が見られたのは食道 (88.6%) が最も多く、次いで造血器リンパ系 (92.5%)、泌尿器系 (93.4%) であった。

放射線治療部門の脳・骨転移治療患者数については、2015年から2020年にかけて、脳転移・骨転移への放射線治療患者数は徐々に増加していたが、脳転移については2021年から減少に転じている。骨転移についても2023年まで減少していたが、2024年は大きく増加した。

また、調査結果報告に続き、各委員よりそれぞれの所属施設における放射線治療体制が報告された。新規患者数はコロナ禍を経て増加の傾向を実感しているとの発言が多かったが、医師・技師の働き方改革の影響により件数を伸ばしにくい状況、機器更新に多額の費用が必要であるため台数削減を検討しているといった報告もあった。

(2) 広島がん高精度放射線治療センターについて

広島がん高精度放射線治療センターの2025年度のスケジュールや治療実績、放射線治療に携わる人材育成および放射線治療装置等に関する技術支援の取り組みについて報告があった。

2025年度は高度医療・人材育成拠点(新病院)関係の対応として、推進会議に加え、システム整備キックオフ会議、基本計画策定会議に参加したほか、ウォークスルー調査にも関与している。また、従来から実施している放射線治療看護研究会や、高校生医療体験セミナー、人材育成セミナー、放射線治療技術支援シンポジウム、広島神戸放射線治療研究交流会といった人材育成活動にも取り組んでいる。その他、県民公開セミナーなどの地域活動も展開している。

治療実績について、2025年度の治療患者実人

数は12月末までに383名で、2024年度上半期よりもやや多く、同年度下半期と同レベルを維持している状況であった。

人材育成については、センター職員の専門技能資格取得や、積極的な学会発表等を目指すとともに、各種研修の受け入れや各種セミナー等を開催し、県内外の医師・医療従事者並びに学生等へ講義・指導を行ったことが報告された。

放射線治療装置等に関する技術支援については、がん診療連携拠点病院の指定要件の一つである放射線治療装置等の出力線量測定や精度管理などの品質保証に関する技術的支援(第三者評価)を行った。2025年度は、「出力線量管理調査」で県内全てのリニアック保有施設の調査実施に向けて取り組むとともに、新たな調査項目を設ける等事業拡大を行っている。

県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- わたしの手帳 地域連携パス (Ver.7)
- わたしの手帳 乳がん
- わたしの手帳 肺がん
- わたしの手帳 前立腺がん
- わたしの手帳 甲状腺がん
- わたしの手帳 肝がん

- わたしの手帳 大腸がん
 - わたしの手帳 大腸がん内視鏡治療後
 - わたしの手帳 胃がん
 - わたしの手帳 胃がん内視鏡治療後
- など

【パンフレット・マニュアル】

ACPの手引き 豊かな人生とともに～私の心づもり～

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaiyko@hiroshima.med.or.jp



わたしの手帳 地域連携パス (Ver.7)



わたしの手帳 乳がん



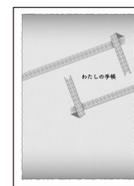
わたしの手帳 肺がん



わたしの手帳 前立腺がん



わたしの手帳 甲状腺がん



わたしの手帳 肝がん



わたしの手帳 大腸がん



わたしの手帳 大腸がん内視鏡治療後



わたしの手帳 胃がん



わたしの手帳 胃がん内視鏡治療後



ACPの手引き 豊かな人生とともに～私の心づもり～



など

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協

検索